

2013年(平成25年)業績

英語論文

Woeckel VJ, Bruedigam C, Koedam M, Chiba H, van der Eerden BC, van Leeuwen JP. 1alpha,25-dihydroxyvitamin D3 and rosigliatazone synergistically osteoblast-mediated mineralization. *Gene*. 2013, 512(2):438-443.

Kaneko H, Ishijima M, Furami I, Ichikawa-Tomikawa N, Kosaki K, Sadatsuki R, Yamada Y, Kurosawa H, Kaneko K, and Arikawa-Hirasawa E. Synovial prelecan is required for osteophyte formation in knee osteoarthritis. *Matrix Biology*. 2013, 04; 32:178-187.

Nakazawa N, Miyahara K, Okawada M, Yamataka A, Suzuki R, Akazawa C, Ichikawa-Tomikawa N, Arikawa-Hirasawa E. Laminin-1 promotes enteric nervous system development in mouse embryo. *Pediatric Surgery International*. 2013, 11; 29(11):1205-1208.

Sugimoto K, Ichikawa-Tomikawa N, Satohisa S, Akashi Y, Kanai R, Saito T, Sawada N, Chiba H. The Tight-Junction Protein Claudin-6 Induces Epithelial Differentiation from Mouse F9 and Embryonic Stem Cells. *PLoS One*. 2013, 10; 8(10):e75106.

学会発表

国内学会、研究会

第102回日本病理学会総会、2013 06 06、札幌

菅野千敬, 冨川直樹, 金子哲治, 田中瑞子, 柏木維人, 井村徹也, 杉野 隆, 千葉英樹. ヒト口腔扁平上皮癌細胞における LXR アゴニストの細胞増殖抑制効果

第102回日本病理学会総会、2013 06 07、札幌

冨川直樹, 杉本幸太郎、金居李紗、田中瑞子、杉野 隆、千葉英樹. クローディンによる幹細胞の新規上皮分化誘導機構.

第102回日本病理学会総会、2013 06 08、札幌.

宍戸奈美子、田中瑞子、冨川直樹、千葉英樹、杉野 隆. マウス乳癌転移モデル

の開発と転移関連遺伝子の探索.

第 102 回日本病理学会総会、2013 06 08、札幌.

渡部哲也、富川直樹、金居李紗、杉本幸太郎、千葉英樹. クローデイン-6 の上皮分化誘導シグナルにおける Src-family kinases の関与.

第 102 回日本病理学会総会、2013 06 08、札幌.

内田千尋、富川直樹、杉本幸太郎、澤田典均、千葉英樹. クローデイン-6 による細胞間接着シグナルは幹細胞の上皮分化を誘導する.

第 25 回高遠・分子細胞生物学シンポジウム、2013 08 29、大津.

渡部哲也、富川直樹、杉本幸太郎、内田千尋、澤田典均、千葉英樹. タイト結合分子クローデイン-6 はマウス幹細胞株 F9 と ES 細胞の上皮分化を誘導する.

第 72 回日本癌学会学術集会総会、10 03-05 2013、横浜.

Takashi Sugino, Naoki Ichikawa-Tomikawa, Hideki Chiba, Takashi Nakajima. Identification of metastasis-related molecules in murine model by DNA microarray and in vivo gene knockdown.

第 36 回日本高血圧学会総会、2013 10 26、大阪.

田中健一、中山昌明、渡辺公雄、林 義満、旭 浩一、植松 学、田中瑞子、棟方 充、渡辺 毅. 異所性レニン産生腫瘍と診断した縦隔胚細胞性腫瘍の一例.

第 51 回全国社会保険医学会総会、2013 11 13、群馬.

田中瑞子、田熊淑男、佐藤寿伸、山田幹二、工藤立史、長谷川茂、鶴岡昭久、海津嘉蔵、松本史郎、露木幹人、青山 功、水谷安秀、城 謙輔. IgA 腎症治療の標準化を目指した他施設共同研究：扁摘パルス療法後 1 年での寛解に関する臨床病理学的因子の選択とその応用.

【シンポジウム】

第 65 回日本細胞生物学会大会、2013 06 19、名古屋.

Ichikawa-Tomikawa Naoki, Sugimono Kotaro, Chiba Hideki. Claudin-6-mediated cell adhesion induces intracellular signaling for epithelial morphogenesis in mouse F9 and embryonic stem cells.

研究費

日本学術振興会科学研究費補助金／基盤研究(C)、平成 25 年度、
「S100A14 の分子機能解析と乳癌の診断・治療への応用」

代表：杉野 隆

日本学術振興会科学研究費補助金／基盤研究(C)、平成 25 年度
「シグナル伝達分子 HMGB を用いた成体神経新生の制御と活性評価法の確立」

代表：井村徹也

日本学術振興会科学研究費補助金／若手研究(B)、平成 25 年度
「幹細胞の上皮分化過程におけるクロードイン-6 シグナルの機能」

代表：富川直樹

日本学術振興会科学研究費補助金／若手研究(B)、平成 25 年度
「新規肺癌予後マーカーS100A14 の機能解析と臨床応用」

代表：田中瑞子

武田科学振興財団／ビージョナルリサーチ助成、平成 25 年度
「細胞接着シグナルによる新規ダイレクト・リプログラミング法の創出」

代表：千葉英樹